

目 次

はじめに

基 礎 編

第1章	薬剤師とは	3
1	薬剤師とは	3
	医薬品と薬剤師 薬剤師の任務	
2	薬剤師になるには：薬学教育	4
	薬学教育制度 6年制薬学部教育 薬学部長期実務実習	
3	薬剤師の役割	6
	薬剤師の使命 薬剤師の業務 病院薬剤師・薬局薬剤師 薬剤師の就業動向	
4	薬剤師に関わる法律	12
	法律の種類 薬剤師の法的責任	
5	これからの薬剤師：薬剤師に求められること	14
	薬剤師のキャリアパス 生涯研修 認定薬剤師・専門薬剤師制度 医療人としての薬剤師 薬物療法における新たな職能	
第2章	薬剤師と薬の歴史	18
1	西欧の薬の歴史	20
	古代の薬 中世の医薬と薬剤師の誕生 近代の医薬	
2	日本の薬の歴史	28
	古代から江戸時代の医薬 明治時代の医薬	
3	現代の薬	32
	医薬品の定義 医薬品の区分 健康食品・サプリメント	
第3章	現代医療の倫理■生命倫理学入門	42
1	生命倫理学とは何か——事例からその多面性を理解する	42
	脳死と臓器移植の事例から 生殖医療・新遺伝学の事例から 安楽死・尊厳死の事例から	
2	生命倫理学と医療専門職の役割——医療専門職と患者との関係	60
	ヒポクラテスの誓い 延命主義とパターンリズム 自律尊重の	

原則 医療専門職と患者の関係

発 展 編

第4章	医療における薬剤師の役割 ……………	71
1	医療分業……………	71
	医療分業の目的 医療分業のメリット 医療分業の起源 日本 の医療分業の歴史 日本の医療分業の現状と問題点	
2	薬剤師職能の変遷——薬剤師職能とファーマシューティカルケア……………	80
	薬剤師の役割と FIP の動き クリニカルファーマシーとファーマシューティカルケア ファーマシューティカルケアについて	
3	日本における薬剤師職能の変遷……………	88
第5章	病院薬剤師・薬局薬剤師 ……………	91
1	病院薬剤師……………	91
2	病院薬剤師の業務と役割……………	91
	医療・薬物治療の安全確保と質の向上のための業務 医療の安全確保のための情報に関する業務 その他取り組むべき業務	
3	病院薬剤師の将来像……………	97
4	薬局薬剤師……………	98
5	薬局薬剤師の業務と役割……………	98
	処方箋調剤における薬局薬剤師の業務と役割 地域医療における薬局薬剤師の業務と役割 その他の薬局薬剤師の業務	
6	薬局薬剤師の将来像……………	107
第6章	生命倫理学(各論) ……………	109
1	はじめに：生命倫理学に関わる4つのテーマ……………	109
	医療の現場における生命倫理 研究倫理について 医療専門職の倫理	
2	生命倫理の4原則……………	112
	生命倫理の原則とその背景 無危害原則と善行原則 自律尊重の原則 正義の原則	
3	患者の権利……………	128
4	研究の倫理……………	133

動物実験における3R ユダヤ人慢性疾患病院事件 タスキー
ギ事件 ナチスの医師による人体実験 ニュールンベルク綱領
ヘルシンキ宣言 ベルモント・レポート

- 5 医療専門職の倫理…………… 142
プロフェッションの本質的特徴 医療専門職に要請されるもの
ファーマシーとは

第7章 薬剤師と現代社会…………… 148

- 1 国民医療費と医療経済…………… 148
国民医療費 国民医療費の範囲 国民医療費の動向と構造
総医療費の国際比較 薬剤経済学
- 2 医療保障制度…………… 157
医療環境の変化 医療提供体制と医療法改正 医療保険制度
高齢者医療制度 介護保険制度 薬価基準制度の仕組み
- 3 薬剤疫学と薬害…………… 175
疫学研究の歴史 薬剤疫学研究 薬剤疫学研究のデザイン
薬害について

資料 (薬剤師法・医薬品医療機器等法・医療法・薬剤師倫理規定)
索引

▶コラム一覧◀

- 1 ベニシリンの発見と抗生物質の適正使用 19
2 新興再興感染症 20
3 江戸時代のくすりがわかる本「救民妙薬」 30
4 江戸末期に刊行された化学・薬学関係の本 31
5 一般用医薬品のインターネット販売 36
6 遺伝子診断と向き合う『ウェクスラー家の選択』から 57
7 「7つ星薬剤師」の資質 82
8 CPD—5つの要素からなる過程 83
9 薬物療法における医師と薬剤師の業務上の関係に関する世界医師会声明 84
10 少子高齢社会とは 158
11 コレラの歴史 176